

〈査読付き論文特集号への論文投稿のご案内〉

「環境技術」6号（11月発行）

環境技術学会編集委員会

「環境技術」6号（2022年11月発行）は、査読付き論文の特集号とする計画です。とくに年度内の博士学位取得を目指される学生の方、また、それ以外の方々も、ふるってご投稿ください。

投稿論文の言語：原則として日本語。留学生が責任著者の場合は、英語も可（原稿は英語校閲済みであること）。

投稿資格：投稿者（責任著者）が本会会員であること。

投稿受付期限：2022年6月15日（水）

掲載料：40,000円（税別。規定ページを超える場合は編集室にお問い合わせください）

論文種類：本特集における論文種別は以下のとおりです。

論文種類	内容	基本頁	査読者
研究論文	独創的で完成度が高い研究内容を含む論文。	7	2
技術論文	開発技術や実験手法、調査手法、分析手法等において、技術面での新規性ないしは完成度が高い内容を含む論文。	7	2
研究ノート	断片的であるが論文に近い新規性がある内容を含む短報・速報。	5	2
報告	実際的な実験や開発技術、調査、分析等の成果報告（有用なデータや情報を含む）。	6	1
総説	特定分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評する論文。参考文献の引用はおおむね50報以上のものとする。	6	1

論文のテーマ：投稿内容は、環境技術の今日的進歩に寄与するものであれば分野を問いません。本誌でのこれまでの掲載実績としては、水・土・堆積物・大気環境・生態系の分析技術開発や実態調査および修復技術、上下水道施設や廃棄物処理の管理運営の最適化、資源リサイクルやバイオマス利活用、人間の諸活動のCO₂排出量算定、環境教育等、環境に関する基礎的研究から応用まで幅広い分野を取り扱ってきました。

なお、掲載時期を定めない通常の論文投稿も随時受け付けております。

〔主な分野〕

水	水処理	廃棄物	そのほか
	水・土・底泥	エネルギー	
大気（臭気、騒音、振動含む）		生態	

また、本特集では、論文の内容やデータが、研究者・実務者にとって有用で、今後の研究や技術開発、環境保護や啓発等に重要な事項を含むなら、積極的に受理したいと考えております。

論文の受理率を高めるためにも下記①～⑧に注意して執筆をお願いいたします。

- ①投稿論文が本誌の執筆要領（学会ホームページを参照）にあっているか。
- ②論文内容にあった要旨が記入されているか。論文の概要（目的、得られた結論を含む）が簡潔かつ明瞭に書けているか。
- ③研究の位置づけと目的が具体的に記載されているか。
- ④研究目的に対応する結論が記載されているか。
- ⑤実験や調査の方法が明確かつ具体的にわかるように記載されているか。
- ⑥実験結果や調査結果から結論を得るための考察が明確に記載されているか。
- ⑦表現や語句の著しい誤りはないか。
- ⑧研究の位置づけや背景を示すための参考文献を適切に引用しているか。

〔環境技術〕査読付論文作成にあたって：<https://www.jriet.net/booklet.html>

※右のQRコードからもアクセスいただけます。

お問い合わせ：環境技術学会機関誌編集室 E-mail: kankyo-g.edit@jriet.net

